

久留米大学を受診した患者さんへ

「心臓再同期療法後に QRST 等積分地図を用いた予後予測因子の検討」の研究に使用する情報について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の情報を使用します。

- 1) 期間：平成 16 年 11 月から平成 25 年 3 月
- 2) 受診科：心臓血管内科
- 3) 対象疾患名：両室ペーシング機能付き植込み型除細動器植込み術後、両室ペースメーカー植込み術後
- 4) 使用する情報：心電図、採血結果、胸部レントゲン、心エコー図

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承いただけますよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：心臓血管内科部門

研究代表者：職名 助教 氏名 原口 剛

研究分担者：職名 講師 氏名 大江 征嗣

職名 助教 氏名 上野 聡史

職名 助教 氏名 熊埜御堂 淳

職名 教授 氏名 福本 義弘

2) 研究の意義と目的：心臓再同期療法は重症慢性心不全患者の心機能を改善し、生命予後を改善します。様々な検討がされていますが、心臓再同期療法後の予測因子については一定の見解は得られていません。QRST 等積分値図は、重症心室性不整脈の発生し易さの評価が出来るといわれており、この QRST 等積分地図を用いて心室再分極を解析し、心臓再同期療法後の予測因子となるものを検討します。

3) 研究の方法：CRTD 及び CRT 植込み術後に行った QRST 等積分地図を元に CRTD 術後の予測因子となるものを解析します。

4) 研究期間：平成 27 年 11 月倫理委員会承認後～平成 30 年 3 月 31 日

5) 上記の情報の使用を選定した理由：CRTD 植込み術後に QRST 等積分地図を施行した患者様を選定しました。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：本研究は、ヘルシンキ宣言に基づく倫理的原則を遵守し、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って実施します。なお本研究を実施するにあたり、久留米大学倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究成果の発表の方法：本研究での研究成果は、日本不整脈学会での発表及び論文により学術誌への発表を行う予定です。

8) 利益相反：本研究は、心臓血管内科学講座の教室研究費にて実施するため、特定企業からの資金援助はないため、利益相反は発生しません。

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

（代表者氏名）原口 剛（所属：心臓血管内科部門 職名：助教）

（住所）久留米市旭町 67

（TEL）0942-35-3311（FAX）